

## 第45回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

### 【1】 日本原子力研究開発機構所有の百塚原団地跡地の利用について

平成24年度の村政懇談会（白方地区自治会）で要望した件について、現在の状況を教えていただきたい。[要望内容：百塚原団地跡地を災害発生時の基幹避難所や住民の健康増進のために利用できる多目的総合住民施設として整備して欲しい。]

#### ⇒【村長コメント】

建物の建設は未定だが、土地は取得したいという意向を日本原子力研究開発機構に伝えてあります。しかし、取得のためには、目的や理由等を明確にする必要があり、内部で検討を続けているところです。

### 【2】 村営住宅について 他

#### 【村営住宅について】

原研と連携し、空き社宅を村営住宅として利用できないか。高齢化社会では、家賃を払えない人が多くなるだろう。その前に対応すべき。

#### ⇒【村長コメント】

原研の資産を原研職員以外の村民に貸し出すことは難しいと思う。現在、住宅政策は必要だと考えていない。家賃の支払いが困難となる方への対応は国の福祉政策であり、村で政策を上乗せして特定の人に税金を投資することは理解されないと思います。

#### 【「お困りです課」の新設について】

「お困りです課」の新設については、他市町村で実施しているので、できないことはないと思う。

#### ⇒【村長コメント】

課を新設しなくても相談できる体制が出来れば良いと思います。現在の体制が不十分であれば強化していきたい。

#### 【災害時の避難場所にフリースポットの設置について】

災害時の避難場所にフリースポットの設置が必要だと思う。

#### ⇒【村長コメント】

現在、基幹避難所となっている各コミセンや総合福祉センター「絆」には設置してあります。福祉避難所である「なごみ」については確認します。

#### ⇒【防災原子力安全課コメント】

村では、各コミセンや総合福祉センター「絆」、総合体育館を「基幹避難所」に指定し、公衆無線LANサービス（Wi-Fi）のフリースポットを設置しています。一方で、「絆」は高齢者や障がい児・者、妊産婦、乳幼児などの要配慮者が避難生活を送れるように、体制を整備した福祉避難所の側面もあります。

この基幹避難所は、村が策定した「東海村地域防災計画」や「東日本大震災の教訓を活かしたまちづくり推進プラン」に基づき指定し、被災者の支援拠点として「各種情報の集約・発信」「物資（水・食料）等や情報の提供」の機能を備えるために、Wi-Fiを含む資機材や人員体制を重点的に整備しています。また、災害の規模が大きいなどの理由で絆やコミセンの収容力が不足した場合に限って、小中学校などその他の避難所を同時に開設し、その際は福祉避難所として総合支援センター（なごみ）も二次的に開設することとしています。

ご提案の「なごみ」へのWi-Fiの設置につきましては、上記のとおり避難所の整備の方針等を考慮すると、多くの利用者からのニーズのほか、慎重な検討が必要であり、現時点での設置は難しいと考えております。

### 【議会傍聴について】

1月に村議会傍聴に出向いたが、開始5分後には終了していた。傍聴会の趣旨はなにか？また事前に周知は行わないのか？

#### ⇒【村長コメント】

いつの議会傍聴についてなのかわからない。

#### ⇒【議会事務局コメント】

1月25日(木)の臨時議会については、案件が1件であったため、すぐに終了となりました。また、議会HPや各コミセン、なごみ、図書館などの公共施設にポスターを貼るなどして事前に周知しております。

### 【「ふれあいトーク」実施後のHP掲載について】

「ふれあいトーク」実施後のHPへの掲載が遅い。

#### ⇒【村長コメント】

速やかに掲載できるようにします。

### 【駐輪場の屋根の設置について】

東海駅東側の駐輪場において、雨天時にレインコートを着脱できるよう屋根を設置して欲しい。

#### ⇒【村長コメント】

担当課に確認します。

#### ⇒【防災原子力安全課コメント】

東海駅東側の駐輪場については、歩行者用通路に面して設置しており、十分な歩行スペースの確保や自転車盗防止のために設置している防犯カメラの死角をつくらないことを優先しているため、御提案の屋根は設けておりません。雨具等の着替えを行う時には、大変御不便をおかけいたしますが、駅などの風雨をしのげる場所で行って頂けますよう御理解・御協力をお願いいたします。

### 【「ふれあいトーク」で出された意見・要望について】

今年度の「ふれあいトーク」で出された意見・要望についての進捗状況を確認したい。

#### ⇒【村長コメント】

このフリートークは、村の政策決定ができる場ではなく、村長として住民の方と意見交換をする場と考えているため、すべてのご意見・ご要望について対処できるものではありませんので、ご理解いただきたいと思っております。

## 【3】 「ふれあいトーク」のホームページ掲載について 他

### 【「ふれあいトーク」のHP掲載について】

「ふれあいトーク」のHPで、その後の対応等が赤字で追加されているが、追記されていることを添付ファイルを開かずに、ページ上でも分かるようにして欲しい。

#### ⇒【村長コメント】

HP上で分かるように改善します。

#### ⇒【広報広聴課コメント】

やりとり結果を一覧表にし、更新日を記載することで、分かりやすいように改善いたしました。

### 【職員の作業服について】

作業服の襟を立てている職員を見かけるが、身だしなみはきちんとして欲しい。退職後の作業服の扱いも慎重にするべきだ。

#### ⇒【村長コメント】

ご意見として伺います。作業服の管理については、村民の皆さんの誤解がないよう扱います。

### 【職員の窓口対応】

窓口で村民が座って話している時には、職員も座って対応して欲しい。一部の職員の対応で役場全体の印象が決まってくる。仕事に慣れてきた中間管理職を対象とした研修が必要だろう。

⇒ **【村長コメント】**

ご意見として伺います。

#### **【4】 「東海第二発電所 状況説明会」へ参加して**

平成 30 年 2 月 3 日に日本原子力発電株式会社が開催する「東海第二発電所 状況説明会」に参加したが、説明内容がよく理解できない。どういうことが不足しているのかもよくわからない。

機械は壊れることは間違いなく、事故が起これば、住民は村に住んでいられない。その場合にどうするのかを考えて「歴史と未来の交流館」建設を考えるべき。

人が生きるために悪い環境ではあってはならない。

⇒ **【村長コメント】**

東海第二発電所の再稼働問題と「歴史と未来の交流館」建設は別だと考えています。

#### **【5】 役場担当課の案内について 他**

役場に出向いても、担当課が分からないことがある。「広報とうかい」で部署名と仕事内容を簡単に掲載してもらえないだろうか。

村長には、若い人たちと力を合わせて村を盛り上げていただきたい。

⇒ **【村長コメント】**

受付で担当課について聞いてもらえば分かるだろうが、HP や案内板でも分かるようにしていきます。

⇒ **【広報広聴課コメント】**

現在、役場での各種手続き案内等の行政情報を一冊にまとめた「暮らしの便利帳」を作成しているところであり、平成 30 年度初めには全戸配布したいと考えていますので、もう少しお待ちください。